



コーティング上からタンク底部の板厚を測定する 測定者に対する講習会 ～再講習会のeラーニング学習システム導入について～

事故防止調査研修センター

1 はじめに

当協会では、コーティングの無い状態で測定した結果と同等の精度で、コーティング上からタンク底部板厚測定を行う際に必要となる知識及び技能等を習得するために標題の講習会(以下「初回講習会」という。)を昭和63年度より開催しています。

また、初回講習会を受講した方等を対象として、コーティング上からのタンク底部板厚測定の知識等の再確認や新たな情報提供等を目的とした講習会(以下「再講習会」という。)を平成21年度から開催しており、これまで多くの方に受講していただいています。

これらの講習会はこれまで対面型による開催をしてきましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて近年、場所や時間の制約がなく受講可能なオンライン研修に対するニーズが高まっており、受講者等の方々からもこれらの講習会についてeラーニング化を要望する声が聞かれるようになりました。このようなことから、令和8年度より再講習会についてeラーニング学習システムを導入することとなりましたので、その概要をお知らせします。

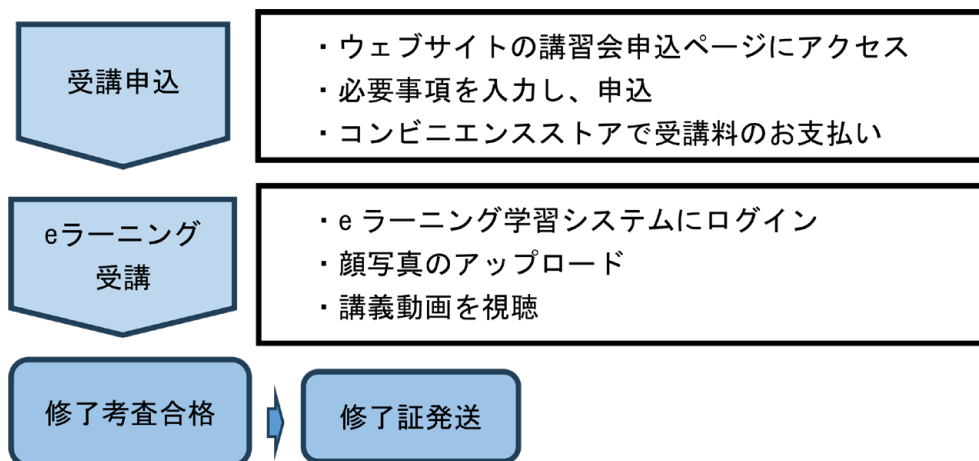
2 受講の流れ

eラーニング学習システム受講の流れは次の図に示すとおり、これまでと同様に当協会ウェブサイトのセミナー・講習会 (<http://www.khk-syoubou.or.jp/seminar/index.html>) にアクセスしていただき、講習会申込フォームに必要事項を入力することから始まります。その後、受講料のお支払い等を経て、受講申込が完了します。

受講料のお支払いは当協会機関誌(Safety&Tomorrow)225号でお知らせをしましたコンビニエンスストア決済のみとなります(詳しくは[当協会機関誌225号](#)を参照願います。)。受講申込の完了後、eラーニング学習システムにログインしていただくと受講開始となり、顔写真のアップロード後に講義用の動画が視聴できるようになります。

テキスト等は受講生の方にPDFファイルをダウンロードしていただきますので、当協会から冊子テキスト等の郵送はありません。

全ての講義動画を視聴後、修了考査に合格するとeラーニングの受講修了となり、修了証を当協会から発送します。



3 顔認証システムの導入

現在当協会では採用しているeラーニング学習システムにおける受講者確認は、ログインID、パスワードでの対応となり、なりすましによる不正受講等を防止する対策が不十分な状況となっていたことから、再講習会では厳格な受講管理が可能な顔認証システムを導入します。

予め登録していた顔写真と、講義の受講時に撮影した顔写真を照合して顔認証します。PCのWebカメラやスマートフォンのカメラが利用できるため、簡単に顔認証を利用できます。カメラ機能がないパソコンをお持ちの方は、カメラ機能が内蔵されているパソコン等か、外付けカメラを準備して受講していただく必要がありますのでご注意願います。顔認証システムについて詳しくは[当協会機関誌225号](#)を参照願います。

4 開催方法などについて

令和8年度より再講習会についてはeラーニング学習システムを導入することから、対面による再講習会の開催は行わない予定です。なお、初回講習会については、これまでどおり対面による開催を予定していますが、再講習会の対面開催中止にともない令和8年度より初回講習会の大阪会場での開催は中止とし、東京会場のみで2回開催する予定ですのでご注意願います。

初回講習の開催時期、再講習会のeラーニング講習開始時期などの詳細については、今後、当協会ウェブサイトなどに掲載しますので、多くの方の申し込みをお待ちしております。

また、受講生の方々に便利な講習会等を受講していただくために初回講習会についても今後、実習部分以外の講義についてはeラーニング学習システムを導入予定です。